



▲美しい水色も特徴の一つ。器とのマリアージュも楽しむことができる

食と器 第3弾

Afternoon Tea

現在「JAZZ & TEA」のオリジナルブレンドティーのラインアップは、100種類を超える。厳選した良質な「原材料」、単体茶や機械加工では得られない新しい味わいを生み出す「ハンドブレンド」、視覚からお茶を楽しむ「水色（すいしょく）」、有効

成分を緻密に計算した「味と香り」にこだわり、宮園氏の感性と深い知見、卓越した技術により、「JAZZ」の名曲の曲調と世界観を紅茶、緑茶、中国茶、ハーブティーなどで表現している。例えば、前回のグルメショーのキッチンステージで披露した「ベルベットムーン」はジョセフ・マイローによる名曲を倉敷産オリブの葉を使用して表現した、上質なデザートワインのような甘みと喉越しを持つ紅いハーブティーだ。「二カの夢」はホレス・シルバーの名曲「Nicas Dream」をイメージした、スパイスが香る烏龍茶ブレンド。鉄観音をベースに、ブラックペッパーやカルダモンの華やかなスパイスの風味を楽しめる。パッケージの美しさも「JAZZ & TEA」のオリジナルブレンドティーの特徴だ。シンプルでありながら、上質感のあるパッケージの制作には宮園氏の夫も関わっている。様々なマリアージュを楽しむこともできる。音楽とともに楽しむのはもちろん、食とのペアリングとしては、例えば、ス・ワンダフルは焼き菓子との相性が良く、ベルベットムーンはビターなチョコレートと合わせると、より香りが引き立つ。バレンタイン需要などにもマッチしそうだ。また「JAZZ

＆TEA」ではブレンドティーに合うオリジナルのクッキーなども展開している。もちろん「JAZZ & TEA」の美しい水色と、器とのマリアージュを楽しむこともできる。**「OEMも好調。アメニティーでの採用など展開も拡大」**「JAZZ & TEA」ではオンラインショップでの販売のほかに、卸販売、ティーレッスン、オーダーメイドで商品の企画、開発、製造を行うOEM事業、お茶と自社商品・サービスを組み合わせ、共同で新たな付加価値を創造する「SESSIOZ」なども展開する。卸事業ではジャズ喫茶を中心にカフェなどとの取引販売が増えているというが、他業態の飲食店やセレクトショップにもマッチする商材だ。OEM事業も好調だ。クライアントの要望やイメージ、ブランドコンセプトを宮園氏一流の感性と技術で具現化するオリジナルブレンドティーはもちろん、美しいそのパッケージも支持されている。高級リゾートホテルの特別宿泊プランのアメニティーにブレンドティーが採用されるなど、様々な展開も進んできている。「JAZZ & TEA」は、お茶を知り、楽しんでいただく、きっかけのよ



▲100種類以上を展開するJAZZ & TEAのオリジナルブレンドティー

JAZZの名曲をブレンドティーで表現

マリアージュを楽しむことができ、ギフト・OEMなどでも大好評

JAZZ & TEA 公式オンラインサイト <https://www.jtea.shop>

「JAZZ & TEA」は独自の高い商品の開発・製造・販売をワンストップで行う、今、注目の「新しいお茶の専門店」だ。2024年9月4日〜6日に開催された第36回グルメショー秋2024にも出展し、非常に好評だった。また会期中には「プロが魅せるキッチンステージ」にも登場し、大盛況だった。**「結婚式をきっかけにオリジナルブレンドティーを開発」**

JAZZ & TEA代表で、ティーブレンドの宮園三鈴氏は幼少期からコーヒーやハーブティー、紅茶や中国茶といった嗜好品飲料に魅了され、嗜んできたという。世界のお茶専門店に勤めながら、大学では世界のお茶文化を比較研究。茶文化のさらなる研究のため、インド、タイ、フランスなども訪れた。タイでの就労や大手外資系企業での勤務を経て、「JAZZ & TEA」を創業した。

もともと、お茶の世界を広く伝えていく事業に携わりたいという想いを強く持っていたという宮園氏だが、実は創業のきっかけとなったのは自身の結婚式だった。「夫はデザイナーでありカメラマンでもあるのですが、夫も私も「JAZZが好きで、JAZZとお茶を

テーマにした結婚式を挙げられたら、なんて話をしていました。その頃、「一緒に『S Wonderful（ス・ワンダフル）』という曲を聴いている時に夫に何気なく『この曲をお茶で表現できないかな』と言われました。最初は戸惑いましたが、インスピレーションが湧いてきて、イメージ通りのものができあがったのです」（宮園氏）。

「ス・ワンダフル」はガースイーン兄弟による名曲だ。「あなたが私を愛してくれること」の「素晴らしさ」を歌うこの曲を宮園氏はオリジナル、そしてしっかりとした味の紅茶を組み合わせることで表現した。それから、曲を聴くと、ブレンドのアイデアとイメージが浮かんでくるようになっていった、とい



▲パッケージの美しさも特徴の一つ。デザイン性の高さはOEMでも好評だ

うな存在になれたらと思っっています。私どもはブレンドティーをメインに展開していますが、ブレンドティーだけでなく、生産者様がこだわって作られているシングルティーを日常的に楽しんでいただける文化の一助ともなれたらと考えています。また前回、グルメショーに出展させていただき、来場者の方とお話しさせていただき、中で、新しい気付きや新しい取り組みが自然と生まれ、まさにセッションのような感覚も覚えられました。「JAZZ & TEA」に関心をお持ちの方にはぜひお問い合わせいただけたらと思います」（宮園氏）。

「JAZZ & TEA」が展開する商品とサービスは、自身で楽しむにも、またギフト、OEM展開、アメニティーやプレミアム、記念品などにも非常に適した商品だ。

音楽とお茶の幸福な出会い。ここから新しいお茶の文化が育まれていくかもしれない。



▲宮園三鈴氏